

平成17年4月 1日から
平成18年3月31日まで

平成17年度（第59年度）

事業報告書・決算書

財団法人 三越厚生事業団

総括

平成17年度は「健診・診療」及び「事業・運営」の先進化と高質化をテーマに取り組みを行ってまいりました。

まず、健診部門におきましては、「新しい検査項目、新システムによる健診とその結果をもとにした生活指導の徹底」を課題として、医師、保健師を中心に健診者へのフォロー体制の確立、検査の精度アップ、新システムの機能充実等の取り組みを行いました。特に職域における勤労者へのフォローの重要性から、保健師チームでは各企業や健康保険組合との協力を得ながら個人へのアプローチを如何に図るかといった研究をスタートさせ、具体的な方法について検討を行っているところで、今後の最重要課題と位置付けて活動を継続してまいります。

一方、診療部門では「健診と連携した適切な治療・フォロー体制」を課題に、健診部門との間で積極的に連携を深め、受診者に関する情報の共有化を図り、その結果、時間の無駄を排除して早期治療に努めることで、受診者への利便性をより高めることができるように、看護師チームでは保健師をはじめ他の部門ともチームワークづくりに取り組んでいるところです。

こうした医療部門の活動をサポートすると共に、「事業の見直しとアピール」を課題として、事務局では費用対効果に基づく資産の効果的活用を図る意味から、事業の見直しを行うと共に新しい事業の提案を検討して参りました。具体的には再来年度以降老人ホーム等への無料巡回健診を終了し、新たな形での事業展開を提案することを決定致しました。その他の事業につきましても今後引き続き検討を行って参ります。

他方、公益法人制度改革の進展と共に新公益法人会計基準の導入に備えて事前の準備を進めて参りましたが、平成18年度からは新会計基準に則って予算執行を行って参ります。また、公益法人制度改革に向けて、自律的にコンプライアンス、ガバナンス、ディスクロージャーの強化を図るべく、内部監査の実施、各種情報の管理体制の強化、諸規程のチェック、職員への啓蒙活動等行って参りました。

健診、診療、事務局が一体となってチームワークを発揮し、様々な分野で先進化と高質化を進めて、当事業団を利用される方々に更に満足頂ける公益事業の推進に努めて参る所存でございますので、今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

尚、各種情報につきましては当事業団ホームページで適宜開示致しております。又、皆様よりご意見、ご要望等ございましたら、ホームページ・FAX・電話等によりお寄せ頂ければ幸いです。

三越厚生事業団ホームページ

URL : <http://www.mhwf.or.jp>

E-mail : mhwf@f5.dion.ne.jp

寄附行為事項

1. 生活習慣病の予防、診断治療に関する研究事業（寄附行為第4条第1号事業）

当事業団役員並びに職員の研究成果の公表

(1) 臨床的研究の発表

平成16年度に実施した各種健診の統計的調査と観察成績を「事業年報」第32号に発表し、各職域健康保険組合及び関連財団法人等116団体へ配布した。

(2) 平成16年度各部門研究とその発表会の開催

実施日 4月21日(木)

会場 エステック情報ビル21階 会議室E

発表 発表は10題で審査の結果、以下の3題について表彰した。(別添「抄録」参照)

1位 「型高脂血症を呈したアポ lipoprotein E 欠損症の動脈硬化について」

医師 細合 浩司

2位 「飲酒、喫煙、運動習慣、BMI と血清脂質との関係」

医師 横山 雅子

3位 「健診におけるBNPの分析範囲について」

検査技師 寺田 奈美他

(3) 当財団医師等職員の研究成果発表は以下の通り。

国際学会における演題発表

氏名	職種	参加月	名称	演題	開催地
横山 雅子	医師	10月	12 th Congress of the International Headache Society	Hangover headache in Japanese male workers	京都市
中村 治雄	医師	11月	American Heart Association (AHA)	Management of Elevated Cholesterol in the Prevention Group of Adult Japanese (MEGA Study)	アメリカ
中村 治雄	医師	2月	HLJC International Symposium	Lipid-lowering Agents - Do statins suppress the development of CAD events? -	東京都

当事業団医師の外部講演会（医師、医療従事者等への啓蒙活動）

氏名	参加月	名称	演題	開催地
中村 治雄	4月	第5回城東生活習慣病研究会	高脂血症の患者さんを診たら	東京都
〃	5月	第7回城西地区生活習慣病フォーラム	高脂血症の患者さんを診たとき	東京都
〃	〃	発売5周年記念講演会	スタチンを安全に使用するために	
〃	〃	第2回 Livita 研究会	メタボリックシンドロームと食事	東京都
〃	6月	新宿医師会 なるほど高脂血症	最新情報と安全に用いるには	東京都
〃	〃	神戸医師会 高脂血症学術講演会	血清脂質の診かたと、その治療	神戸市

中村 治雄	6 月	第16回西部地区動脈硬化研究会	スタチンの重要性和正しい使い方	所沢市
"	8 月	Lipitor 発売5周年記念講演会	スタチンを安全に使いこなすには - 横紋筋融解症診断のポイント -	仙台市
"	1 月	ラウンドテーブル・ディスカッション四国	MEGA Study: Management of Elevated Cholesterol in the Primary Prevention Group of Adult Japanese から学ぶこと	高松市
"	3 月	MEGA STUDY In MATUYAMA	MEGA Study から学ぶこと 一部のサブ解析を含めて	松山市

学会における演題発表

氏 名	参加月	名 称	演 題
近 藤 修 二	4 月	第102回日本内科学会講演会	左室駆出率正常者のBNPと左室心筋重量及び左室機能の間の相関
中 村 治 雄	5 月	第26回日本心血管インターベンション学会関東甲信越地方会	血液の脂肪をどうみるか
近 藤 修 二	5 月	日本超音波医学会 第78回学術集会	左室駆出率及び心エコー所見正常者の拡張能を含む心機能の男女差
近 藤 修 二	6 月	第47回日本老年医学会 学術集会	心エコー正常所見症例における左室心筋重量係数と年齢、BMI、血圧及び左室機能の間の相関
中 村 治 雄	7 月	日中保健食品セミナー	メタボリックシンドロームと食事
船 津 和 夫	8 月	第46回日本人間ドック学会学術大会	緑茶とコーヒー飲用の高血圧への影響
横 山 雅 子	2 月	第237回関東産業健康管理研究会	アルコール - ALDH2 遺伝子の面から -
横 山 雅 子	2 月	頭痛フォーラム2006	実地診療の立場からみた頭痛診断・治療
中 村 治 雄	3 月	第70回日本循環器学会 総会	日本人の心血管イベントリスクマネジメントを考える

当事業団医師の発表論文

論文名	氏名	掲載雑誌名
食後代謝物症候群	中村 治雄	日本医事新報 4225 : 25 , 2005
Increased risk for cardiovascular outcome and effect of cholesterol-lowering pravastatin therapy in patients with diabetes mellitus in the pravastatin anti-atherosclerosis trial in the elderly (PATE)	Isikawa T, Nakamura H, et al.	Current Therapeutic Res 2005 ; 66 : 48-65
高脂血症と脳卒中発症・再発予防	中村 治雄	成人病と生活習慣病 2005 ; 35 : 427-433
脂質代謝に関する臨床栄養学の参考書	〃	日本医事新報 2005 ; 4228 : 100
スタチン - そのあゆみと正しい使い方 -	〃	Astellas Square 2005 ; 1: 9-12
高脂血症の観点から	〃	CLINICAL PRACTICE 2005 ; 24 : 626-629
Polymorphism of the 3'-untranslated region of interleukin-12 p40 gene is not associated with the presence or severity of coronary artery disease.	Momiyama Y, Nakamura H, et al.	Circulation J 2005 ; 69 : 793-797
Lack of any association between persistent hepatitis B or C virus infection and coronary artery disease.	Momiyama Y, Nakamura H, et al.	Atherosclerosis 2005 ; 181: 211-213
減量のための食事	中村 治雄	日本医事新報 2005 ; 4241 : 30
急激に上がった中性脂肪値 (Q & A)	〃	暮らしと健康 2005 ; 9 : 83
Associations between serum resistin levels and insulin resistance, inflammation, and coronary artery disease.	Ohmori R, Nakamura H, et al.	JACC 2005 ; 46 : 379-380
運動と炎症マーカー	中村 治雄	帰れ自然へ、アルク 2005 ; 7月20日号 : 3
10年を越える大規模な無作為化比較試験 MEGA Studyの完成と期待	中村 治雄、 水野 杏一、 老松 寛	日経メディカル 2005 ; 454 : 60-63
メタボリックシンドロームと動脈硬化との関連	中村 治雄	メディカル朝日 2005 ; 34 (別冊) : 1-2
高感度CRP (hs CRP) とメタボリックシンドローム	〃	成人病と生活習慣病 2005 ; 35 : 891-894
忍び寄るメタボリックシンドローム	〃	大正レポート 2005 ; 10, 1-4
心筋梗塞の予後とメタボリックシンドローム	〃	日本医事新報 2005 ; 4261 : 6
米国心臓協会年次学術集会 2005 レポート MEGA	〃	Therapeutic Res 2005 ; 26 : 2194
MEGA 試験 - メバロチンで動脈硬化性疾患の発症率を3割抑制 -	〃	ミクス 2006 ; 34, 13
抗高脂血症薬市販後研究会 -MEGA Study-	〃	ばんぷう 2006 ; 298 : 82-83
Green tea consumption and serum malondialdehyde-Modified LDL concentration in healthy subjects	Ohmori R, Nakamura H, et al.	J Am Coll Nutr 2005 ; 24 : 342-346
特定保健用食品の食べ合わせ摂取の有用性の検討 - ジアシルグリセロール+食物ステロール添加油(エコナ油)と食物繊維(コレスケア)の併用	細合 浩司、 中村 治雄	Prog. Med. 2006 ; 26 : 965-768

Effect of Coffee Intake on Blood Pressure in Male Habitual Alcohol Drinkers	船津 和夫	Hypertens Res 2005 ; 28 (6) : 521-527
飲酒者におけるコーヒーと血圧	船津 和夫	血圧 12 (12) ; 1234-35 , 2005
コーヒー飲用者に高血圧は少ない	〃	日本医事新報 4253号 (2005年10月29日発行) ; 17-20
コーヒーを適量飲む人に高血圧が少ない	〃	すこやかファミリー 2月号 (2006年2月発行) ; 5
中高齢者のための健康管理の実際 上手な生活習慣病健診の受け方	〃	シニアプラン Spring 1; 38-41
中高齢者のための健康管理の実際 中高齢者のための上手な健康診断の再検査の受け方 (1)	〃	シニアプラン Summer 2 ; 44-47
中高齢者のための健康管理の実際 中高齢者のための上手な健康診断の再検査の受け方 (2)	〃	シニアプラン Autumn 3 ; 40-43
脂肪肝における血中ヘモグロビン値の検討	〃	人間ドック 20 (1) ; 32-37
老人ホーム入所高齢者の臨床検査値の検討	〃	Prog. Med. 2006 ; 26 (2) : 532-537
CRP (高感度 CRP)	山下 毅、 船津 和夫	最新の生活習慣病健診と対策のすべて 2006 ; 158-159
将来、生活習慣病にならないために	山下 毅	少年写真新聞 2005 ; 1320 , 1
Esophageal Spumous Cell Carcinoma and aldehyde Dehydrogenase-2 Genotypes in Japanese Females	横山 雅子	Alcohol. Clin. Exp. Res. 2006 ; 30 (3) : 491-500
Mean Corpuscular Volume, Alcohol Flushing, and the Predicted Risk of Squamous Cell Carcinoma of the Esophagus in Cancer-Free Japanese Men	〃	Alcohol. Clin. Exp. Res. 2005 ; 29 (10) : 1877-1883
Hangover Susceptibility in Relation to Aldehyde Dehydrogenase-2 Genotype, Alcohol Flushing, and Mean Corpuscular Volume in Japanese Workers	〃	Alcohol. Clin. Exp. Res. 2005 ; 29 (7) : 1165-1171

第1号事業 総計 事業費 6,304千円 予算 11,620千円

2. 生活習慣病その他重要な疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業 (同条第2号事業)

(1) 低額集団健診事業

予防医学面から地域、職域を対象とした総合健診活動及び家庭の主婦を中心とした女性健診を実施し、生活習慣病その他重要な疾病の予防及び早期発見に努めると共に、健診結果に基づき健診者の生活指導を積極的に行い健康の保持、増進に寄与した。

平成17年度の実施状況は次の通りである。

集団健診 146社又は団体

生活習慣病健診	9,999名 (前年度 9,548名)
女性健診	3,215名 (前年度 3,528名)
生活習慣病健診特別コース	77名 (前年度 95名)
計	13,291名 (前年度 13,171名)

オプション検査の新規提案

血管機能検査	受診者	<u>489名</u>
癌検査	受診者	<u>805名</u>
肺癌検査	受診者	<u>173名</u>
肝腎検査	受診者	<u>316名</u>
乳がん検査	受診者	<u>720名</u>

(2) 生活習慣病健診報告懇話会

当事業団で集団健診を行っている企業並びに健康保険組合の参加を得て、小講演会を開催すると共に生活習慣病健診所見に基づいて参加者と意見の交換を行い、今後の健診事業活動の参考とすべく開催された。

実施日：平成17年12月13日(火)

場所：新宿京王プラザホテル本館4階「けやき」「高尾」

参加人数：61名

報告会：1) 講演 「メタボリックシンドロームについて」

講師 三越診療所副所長 山下 毅

2) パネルディスカッション

・テーマ：健診の充実に向けて
健診フォロー体制への取組みについて他

・座長：三越診療所所長 船津 和夫

・パネリスト：文祥堂健康保険組合元常務理事 奥原 肇

三越健康保険組合 元常務理事 高木 清彦

三越総合健診センター 副所長 山下 毅

〃 事務統括部長 本間 優

〃 保健課チーフ 斗米 馨

(3) 無料巡回健診

無料奉仕の健診を次の通り行った

期間 6月15日(水)～ 7月8日(金)

巡回先 6施設

	受診延人員	3,023名(前年度2,888名)
信愛寮(老人ホーム)	血液検査 (18A・4A項目)	376名(前年度 363名)
	胸部X線撮影	242名(前年度 263名)
	心電図	360名(前年度 352名)
聖明園(盲・老人ホーム)	血液検査 (18A・4A項目)	396名(前年度 398名)
	胸部X線撮影	216名(前年度 212名)
	心電図	130名(前年度 128名)
サンホーム(老人ホーム)	血液検査 (18A・4A項目)	87名(前年度 86名)
	胸部X線撮影	76名(前年度 74名)
	心電図	54名(前年度 51名)
滝乃川学園(精神薄弱者厚生施設)	血液検査 (18A・4A項目)	77名(前年度 92名)

	胸部X線撮影		155名(前年度	128名)
	心電図		159名(前年度	131名)
至誠学舎(老人ホーム)	血液検査	(18A・4A項目)	142名(前年度	95名)
	胸部X線撮影		140名(前年度	93名)
	心電図		140名(前年度	94名)
パサージュいなぎ (精神薄弱者厚生施設)	血液検査	(18A・4A項目)	87名(前年度	157名)
	胸部X線撮影		93名(前年度	85名)
	心電図		93名(前年度	86名)

第2号事業 総計 事業費 473,446千円 予算 468,750千円

3. 生活習慣病その他重要な疾病の予防、診断、治療に関する助成事業(同条第3号事業)

(1) 第33回三越医学研究助成(助成金総額1,500万円)

平成17年度三越医学研究助成並びに留学渡航費助成実行委員会開催

開催日: 研究課題決定 5月11日(水)

審査員決定 8月29日(月)

助成対象者決定 10月14日(金)

責任者 常務理事 中村 治雄
委員

常務理事 高見 信雄 三越診療所所長 船津 和夫、三越診療所副所長 山下 毅
事務局 加藤 肇

研究課題の決定

1. 「認知症とその対策」
2. 「消化器疾患における微生物の意義」
3. 「動脈硬化における Vascular Biology」

選考会 上記テーマにおける外部の各専門分野医師2名及び当財団医師により選考を行った。選考に当たっては応募者の研究機関名、氏名をブラインドにして評価。総合点により上位を選考し、助成金額案を付して理事長に推薦し決定。

贈呈式 11月24日(木)に三越日本橋本店7階特別食堂「不二の間」にて贈呈式を行い、助成金をそれぞれ交付した。

助成対象者は以下の通り

第33回 三越医学研究助成対象者

氏名	年齢	所属機関	課題分類	研究課題	助成金
久住 友紀 くじゅうら ゆき	28 歳	慶應義塾大学医学部 神経内科博士課程	A	多発性硬化症の認知機能障害における IFN- β の効果 通常型 MS および視神経脊髄型 MS での検討	200 万円
中村 正彦 なかむら まさひこ	51	北里大学薬学部 臨床薬学研究センター病態 解析・助教授	B	ヘリコバクター・ヒルマニイ感染の胃 MALT リンパ腫形成および胃粘膜萎縮との関連 生検組織およびマウス感染モデルによる検討	200 万円
土肥 多恵子 どひ たえこ	48	国立国際医療センター研究所 消化器疾患研究部部長	B	潰瘍性大腸炎における腸内常在菌に対する応答異常の解析	160 万円
中嶋 均 なかじま ひとし	53	東京都立駒込病院 内科医長	B	成人下痢症の病態とウイルス感染に関する集学的研究	150 万円
重松 武治 しげまつ たけはる	35	東京都済生会中央病院 内科副医長	B	腸管マクロファージによる腸内細菌認識機構と炎症性腸疾患発症のメカニズム	300 万円
小川 佳宏 おがわ よしひろ	43	東京医科歯科大学難治疾患研究所 教授	C	動脈硬化性疾患における炎症性アディポサイトカインとしての遊離脂肪酸の病態生理的意義と創薬ターゲット	150 万円
石川 由起雄 いしかわ ゆきお	50	東邦大学医学部医学科 病理学講座・講師	C	7 種の分泌型フォスホリパーゼの動脈硬化進展における意義に関する分子病理学的研究	200 万円
大久保 実 おおくぼ みのる	45	冲中記念成人病研究所 主任研究員	C	低比重リポ蛋白受容体関連蛋白 5 (LRP5) のメタボリックシンドロームに及ぼす影響	150 万円

(注) 研究課題

- A 認知障害とその対策
- B 消化器疾患における微生物の意義
- C 動脈硬化における Vascular Biology

(2) 第6回海外留学渡航費助成(助成金総額300万円)

海外留学を志す若手医学研究者をバックアップする為、留学費用の一部として渡航費の助成を東京都内

の大学医学部、医学研究施設、病院等を対象に5月26日(木)より公募を開始し、8月15日(月)締め切りまでに合計2件の応募があり、選考委員会による厳正な審査の結果、対象者を下記の通り2名に決定、11月24日(木)に三越日本橋本店7階 特別食堂「不二の間」に於いて贈呈式を行い、助成金をそれぞれ交付した。

第6回 海外留学渡航費助成対象者

氏名	年齢	所属機関	留学先	現在の専攻	研究課題	助成金
あさの 浅野 けんいち 謙一	31歳	東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 腎臓内科学分野・ 大学院生	ハーバード大学医 学部ブリガムアン ドウィメンズ病院	免疫学 腎臓病学	好中球による血管内 皮傷害の分子メカニ ズム解析マウス 系球体腎炎モデルを 用いて	50万円
なかもと 中本 のぶひろ 伸宏	31歳	慶應義塾大学医学 部 消化器内科・助手	ペンシルバニア大 学在郷軍人医学セ ンター	ウィルス性 肝炎におけ る免疫学的 機序の解析	肝発癌における regulatory T cell の関 与についての検討	50万円

尚、医学研究助成、海外留学渡航費助成共に、応募対象は東京都内の大学医学部、研究機関、病院等とし、5月26日(木)より公募を開始し、8月15日(月)締め切りまでに各々16件、2件の応募があり、外部審査も含め、選考委員会による厳正な審査の結果、助成対象者を決定した。

第3号事業 総計 事業費 **16,935**千円 予算 **19,780**千円

4. 健康保持増進のための援助活動(同条第4号事業)

(1) 東京都児童福祉施設競技大会

健康の保持増進を目的とした東京都後援の児童福祉施設競技大会に以下の通り寄贈を行った。

バレーボール、ドッチボール

日 程 : 7月22日(金)

場 所 : 東京体育館

寄贈品 : バレーボール 公認ボール 15個

〃 : ドッチボール 公認ボール 20個

尚、参加賞としてノートを750名に寄贈した。

野球大会

日 程 : 7月27日(水)~28日(木)

場 所 : 三鷹市大沢総合グラウンド

寄贈品 : 野球用具 15セット

尚、参加賞としてノートを350名に寄贈した。

(2) 三多摩児童養護施設駅伝・マラソン大会

三多摩地区の養護施設児童の体力向上を目的としたスポーツ大会に参加賞を寄贈した。

日 程 : 2月11日(土)

場 所 : 国営昭和記念公園

寄贈品 : スポーツタオル 300枚

(3) その他協力

援助金を次の通り交付した。

財団法人がんの子供を守る会（小児がん撲滅運動への援助）	10万円
社会福祉聖明福祉協会（盲老人、虚弱高齢者の方々の健康促進）	20万円
財団法人日本万歩クラブ（ウォーキング普及活動への援助）	70万円

第4号事業 総計 事業費 1,777千円 予算 2,630千円

5. 保険衛生思想の普及（同条第5号事業）

「生活習慣病」をテーマに、新聞等の媒体を介して広く一般の方々から参加を募り、健康セミナーを開催した。

<平成17年度開催結果>

回数：7回（健康セミナー・健康講座）（前年 7回）
参加者数：延べ 2,037名（前年 2,179名）

内容は以下の通り。

(1) 健康セミナー

第13回健康セミナー開催

日時：7月8日(金) 午後1時～4時

場所：三越日本橋本店6階 「三越劇場」

参加人員：378名（定員500名）

テーマ：「生活習慣病から身を守るには」

講師・演題：三越厚生事業団三越診療所所長 船津 和夫

「消化器の病気から身を守るには - 食道・胃・腸 - 」

東海大学医学部教授 松崎 松平

「消化器の病気から身を守るには - 肝臓・膵臓 - 」

パネルディスカッション：パネリスト 平井 俊策・船津 和夫

司 会 中村 治雄（三越厚生事業団常務理事）

第14回健康セミナー開催

日時：9月30日(金) 午後1時～4時

場所：三越日本橋本店6階 「三越劇場」

参加人員：452名（定員500名）

テーマ：「生活習慣病から身を守るには」

講師・演題：日本医科大学教授 水野 杏一

「狭心症・心筋梗塞の予防と治療」

三越厚生事業団三越診療所副所長 山下 毅

「メタボリックシンドロームと動脈硬化」

第15回健康セミナー開催

日時：11月25日(金) 午後1時～4時

場 所：三越日本橋本店6階 「三越劇場」

参加人員：401名(定員500名)

テ ー マ：「生活習慣病から身を守るには」

講師・演題：老年病研究所附属病院名誉院長・群馬大学名誉教授 平井 俊策

「認知症とその予防・治療」

三越厚生事業団常務理事 中村 治雄

「コレステロール治療の是非」

尚、健康セミナーに先立ち、第33回三越医学研究助成対象者代表久住呂有紀氏(慶應義塾大学医学部内科)による記念講演が行われた。

第16回健康セミナー開催

日 時：2月17日(金) 午後1時~4時

場 所：京王プラザホテル4階 「扇」

参加人員：362名(定員400名)

テ ー マ：「生活習慣病から身を守るには」

講師・演題：三越厚生事業団三越診療所所長 船津 和夫

「生活習慣と胃腸の病気」

慶應義塾大学看護医療学部教授 加藤 眞三

「生活習慣と肝臓病」

パネルディスカッション：パネリスト 加藤 眞三・船津 和夫

司 会 山下 毅(三越厚生事業団三越診療所副所長)

第6回健康講座開催

日 時：5月6日(金) 午後1時~4時

場 所：「アミューたちかわ」(立川市)

参加人員：109名(定員280名)

講 演： テーマ「生活習慣病とは？」

講 師 三越厚生事業団常務理事 中村 治雄

テーマ「正しい健診の受け方」

講 師 三越厚生事業団三越診療所事務統括部長 本間 優

第7回健康講座開催

日 時：6月9日(木) 午後2時~3時30分

場 所：「調布市グリーンホール(小ホール)」(調布市)

参加人員：154名(定員300名)

講 演：テーマ「頭痛」 ・救急車で運ばれる頭痛は、どういう病気が多い？

・頭痛の原因にはどんなものがある？

・頭痛は現代病？慢性頭痛にならないようにする為には？

講 師 三越厚生事業団三越診療所医師部隔部長 横山 雅子

第8回健康講座開催

日 時：10月14日(金) 午後2時~3時30分

場 所：「多摩センター三越7階 スカイラウンジ」(多摩市)

参加人員：181名(定員200名)

講 演：テーマ「心筋梗塞を防ごう」

講 師 三越厚生事業団三越診療所医師部副部長 近藤 修二

(2) 広報活動

保健衛生思想の普及のため、広報活動を次の通り実施した。

- ・毎年9月と翌年2月に実施しているアルタビジョン利用による広報活動用のビデオ製作を行った。
本年は、当事業団三越診療所山下副所長のイメージキャラクターを使って、「メタボリックシンドローム」をテーマに生活習慣病の予防には定期的な健康診断を受けることが大切であることをアピールした。また、厚生労働省の生活習慣病予防キャンペーンやがん征圧月間キャンペーンに協力した。

- ・9月1日(木)～9月30日(金)

アルタビジョン新宿・銀座を利用して、生活習慣病予防をテーマのビデオを放映した。併せて厚生労働省の保健衛生思想普及キャンペーンに下記の通り協力、放映を行った。

キャンペーンテーマ：「がん征圧月間」 9月 1日～9月30日

「老人週間」 9月15日～9月21日

放映時間：新宿 午前10時～午後11時の間 毎時1回 30秒間

1日13回 合計30日間 延べ390回放映

銀座 午前 9時～午後10時の間 毎時1回 30秒間

1日13回 合計30日間 延べ390回放映

- ・2月1日(水)～2月28日(火)

放映内容は9月放映の同映像を使用し、キャンペーンテーマを変更して実施した。

キャンペーンテーマ：「生活習慣病予防週間」2月 1日(水)～2月 7日(火)

「生活習慣病予防告知」2月 8日(水)～2月28日(火)

放映時間：新宿 午前10時～午後11時の間 毎時1回 30秒間

1日13回 合計27日間 延べ351回放映(2月10日(月)休映日)

銀座 午前 9時～午後10時の間 毎時1回 30秒間

1日13回 合計27日間 延べ351回放映(2月10日(月)休映日)

事業年報の作成

平成16年度(平成16年4月～平成17年3月)に実施した集団健診、診療等の統計的調査と観察成績を「事業年報」第32号に掲載し、職域健康保険組合及び企業関係者、医療関係団体(病院・研究機関)、関連社団・財団法人等に配布した。

第5号事業	総計	事業費	23,252千円	予算	28,600千円
-------	----	-----	----------	----	----------

6. 診療施設の設置運営(同条第6号事業)

診療患者数延数、職域入社、定期健診延数は次の通りである。

延総数 28,561名(前年度 27,357名)

(1) 延数内訳

内科	20,643名(前年度 20,643名)
予防注射	900名(前年度 847名)
職域入社・定期健診	68社又は団体 6,892名(前年度 6,001名)

(2) 種目別内訳とその適用患者数

国民健康保険	8,091名(前年度 8,332名)
社会保険(政府管掌)	1,740名(前年度 1,909名)
〃(組合管掌)	10,059名(前年度 9,595名)
〃(その他)	483名(前年度 673名)
自費	0名(前年度 134名)
職域入社・定期健診	6,892名(前年度 6,001名)

毎年実施している新宿区・中野区役所主催の区民を対象にした成人健康診査は、延1,698名で昨年に較べ270名の減であった。

管理・運営事項

1. 理事会・評議員会の開催

開催日 平成17年5月12日(木)

場 所 株式会社三越本社会議室

<評議員会>

議 題 1.平成16年度(第58年度)事業報告案及び収支計算書、正味財産増減計算書
貸借対照表並びに財産目録案審議の件

報告事項 1.個人情報保護法への取組み状況について

<理事会>

議 題 1.平成16年度(第58年度)事業報告案及び収支計算書、正味財産増減計算書
貸借対照表並びに財産目録案承認の件

報告事項 1.個人情報保護法への取組み状況について

開催日 平成17年11月24日(木)

場 所 株式会社三越本社会議室

<評議員会>

報告事項 1.上半期の事業結果報告
2.第33回医学研究助成並びに第6回海外留学渡航費助成決定の件
3.公益法人制度の抜本的改革の進捗状況について
4.その他

<理事会>

報告事項 1.上半期の事業結果報告
2.第33回医学研究助成並びに第6回海外留学渡航費助成決定の件
3.公益法人制度の抜本的改革の進捗状況について
4.その他

開催日 平成18年3月24日(金)

場 所 株式会社三越本社会議室

<評議員会>

議 題 1.平成18年度(第60年度)事業計画案及び収支予算案審議の件

報告事項 1.公益法人制度改革並びに新公益法人会計基準について

2.その他

<理事会>

議 題 1.平成18年度(第60年度)事業計画案及び収支予算案承認の件

報告事項 1.公益法人制度改革並びに新公益法人会計基準について

2.その他

2.登記事項

資産総額登記 平成17年 5月20日(月)

3.報告事項

中間業務監査実施 実施日:平成17年10月19日(水)

立会者:監事2名、理事長、常務理事、

監査内容:「コンプライアンスチェックシート」に基づき、事業執行状況の監査を行った。

毎四半期毎の事業報告を7月・10月・1月の3回、理事・監事・評議員全員に送付した。

収支計算書総括表

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	診療事業特別会計	内部取引消去
財産運用収入	120,613,518	120,613,518	0	0
事業収入	633,799,755	400,163,849	233,635,906	0
低額集団健診事業収入等	400,163,849	400,163,849	0	0
診療事業収入	233,635,906	0	233,635,906	0
雑収入	50,947,580	50,409,471	538,109	0
敷金戻り収入	0	0	0	0
特定預金取崩収入	17,669,000	17,669,000	0	0
繰入金収入	0	15,007,278	0	15,007,278
当期収入合計(A)	823,029,853	603,863,116	234,174,015	15,007,278
前期繰越収支差額	730,952,745	583,795,673	147,157,072	0
収入合計(B)	1,553,982,598	1,187,658,789	381,331,087	15,007,278

支出の部

科 目	合 計	一般会計	診療事業特別会計	内部取引消去
事業費	745,580,048	530,405,311	215,174,737	0
低額集団健診事業費等	530,405,311	530,405,311	0	0
診療事業費	215,174,737	0	215,174,737	0
管理費	112,008,191	112,008,191	0	0
固定資産取得支出	0	0	0	0
特定預金支出	0	0	0	0
繰入金支出	0	0	15,007,278	15,007,278
法人税等	3,992,000	0	3,992,000	0
当期支出合計(C)	861,580,239	642,413,502	234,174,015	15,007,278
当期収支差額(A)-(C)	38,550,386	38,550,386	0	0
次期繰越収支差額(B)-(C)	692,402,359	545,245,287	147,157,072	0

収 支 計 算 書 (一般会計)

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

勘 定 科 目		予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目				
基本財産運用収入		120,600,000	120,613,518	13,518	
	基本財産配当収入	120,600,000	120,598,518	1,482	
	基本財産利息収入	0	15,000	15,000	
事業収入		385,000,000	400,163,849	15,163,849	
	低額集団健診事業収入	375,000,000	390,413,549	15,413,549	
	産業医委嘱料	10,000,000	9,750,300	249,700	
雑収入		38,000,000	50,409,471	12,409,471	
	利息収入	38,000,000	47,212,482	9,212,482	
	雑収入	0	3,196,989	3,196,989	
敷金戻り収入		0	0	0	
	敷金戻り収入	0	0	0	
特定預金取崩収入		21,000,000	17,669,000	3,331,000	
	退職給与引当預金取崩収入	20,000,000	17,669,000	2,331,000	
	減価償却引当預金取崩収入	1,000,000	0	1,000,000	
繰入金収入		0	15,007,278	15,007,278	特別会計より
	元入金返済収入	0	0	0	
	繰入金収入	0	15,007,278	15,007,278	
当期収入合計 (A)		564,600,000	603,863,116	39,263,116	
前期繰越収支差額		310,534,000	583,795,673	273,261,673	
収入合計 (B)		875,134,000	1,187,658,789	312,524,789	

支出の部

(単位:円)

勘定科目		予算額			決算額	差異	備考
大科目・中科目	小科目	予算額	流用額	計			
1 事業費		543,990,000	0	543,990,000	530,405,311	13,584,689	
1 研究事業費		11,620,000	4,300,126	7,319,874	6,304,116	1,015,758	
	1 研究費	5,000,000	2,801,806	2,198,194	2,198,194	0	10へ流用減
	2 学会費	2,000,000	0	2,000,000	1,618,970	381,030	
	3 諸会費	1,200,000	0	1,200,000	1,191,015	8,985	
	4 旅費交通費	1,500,000	1,498,320	1,680	1,680	0	2-10へ流用減
	5 研修会謝礼金	300,000	0	300,000	211,109	88,891	
	6 通信費	60,000	2,255	62,255	62,255	0	7より流用増
	7 消耗品費	10,000	2,255	7,745	4,012	3,733	6へ流用減
	8 印刷製本費	50,000	0	50,000	0	50,000	
	9 図書購入費	1,000,000	0	1,000,000	861,165	138,835	
	10 雑費	500,000	0	500,000	155,716	344,284	
2 予防及び健康 保持増進事業費		481,360,000	5,392,659	486,752,659	482,137,606	4,615,053	
	(低額集団健診事業費)	468,750,000	7,420,804	476,170,804	473,445,516	2,725,288	
	1 給料	118,000,000	6,001,175	124,001,175	124,001,175	0	9より流用増
	2 手当	52,000,000	1,174,897	53,174,897	53,174,897	0	9より流用増
	3 退職金	20,000,000	1,825,735	18,174,265	17,669,000	505,265	4.5.6.13.16へ流用減
	4 福利厚生費	27,000,000	1,491,177	28,491,177	28,491,177	0	3より流用増
	5 旅費交通費	5,000,000	183,590	5,183,590	5,183,590	0	3より流用増
	6 臨時雇賃金	20,000,000	5,945	20,005,945	20,005,945	0	3より流用増
	7 通信費	2,700,000	0	2,700,000	2,629,914	70,086	
	8 什器備品費	500,000	0	500,000	323,960	176,040	
	9 機器リース料	46,000,000	7,176,072	38,823,928	38,708,713	115,215	1.2へ流用減
	10 検査・材料費	52,000,000	14,931,236	66,931,236	66,931,236	0	12.20.29.1-1.1-4より流用増
	11 消耗品費	10,000,000	1,092,533	11,092,533	11,092,533	0	3-2より流用増
	12 修繕費	15,000,000	5,161,849	9,838,151	9,838,151	0	10へ流用減
	13 印刷製本費	5,000,000	135,763	5,135,763	5,135,763	0	3より流用増
	14 水道光熱費	4,500,000	0	4,500,000	3,710,319	789,681	
	15 借室料	52,920,000	0	52,920,000	52,907,880	12,120	
	16 火災保険料	50,000	9,260	59,260	59,260	0	3より流用増
	17 租税公課	13,000,000	0	13,000,000	12,168,690	831,310	
	18 共益費	16,980,000	0	16,980,000	16,966,308	13,692	
	19 清掃費	1,100,000	0	1,100,000	888,121	211,879	
	20 雑費	7,000,000	3,441,116	3,558,884	3,558,884	0	10へ流用減
	(健診報告懇話会)	1,200,000	0	1,200,000	841,485	358,515	
	21 会場費	900,000	0	900,000	642,705	257,295	
	22 講演謝礼金	50,000	0	50,000	0	50,000	
	23 旅費交通費	10,000	0	10,000	0	10,000	
	24 通信費	40,000	0	40,000	22,380	17,620	
	25 雑費	200,000	0	200,000	176,400	23,600	

勘定科目		予算額			決算額	差異	備考
大科目・中科目	小科目	予算額	流用額	計			
	(巡回無料健診)	11,410,000	2,028,145	9,381,855	7,850,605	1,531,250	
	26 旅費交通費	100,000	0	100,000	83,300	16,700	
	27 臨時雇賃金	200,000	0	200,000	153,000	47,000	
	28 通信費	10,000	0	10,000	6,800	3,200	
	29 検査・材料費	10,500,000	2,028,145	8,471,855	7,201,705	1,270,150	10へ流用減
	30 雑費	600,000	0	600,000	405,800	194,200	
3 助成事業		19,780,000	1,092,533	18,687,467	16,934,532	1,752,935	
	1 医学研究助成金	15,000,000	0	15,000,000	14,600,000	400,000	
	2 渡航助成金	3,000,000	1,092,533	1,907,467	1,000,000	907,467	2-11へ流用減
	3 助成金選考謝礼金	1,000,000	71,052	928,948	500,000	428,948	7へ流用減
	4 旅費交通費	20,000	5,850	14,150	3,380	10,770	6へ流用減
	5 印刷製本費	200,000	0	200,000	194,250	5,750	
	6 通信費	60,000	5,850	65,850	65,850	0	4より流用増
	7 雑費	500,000	71,052	571,052	571,052	0	3より流用増
4 健康保持増進		2,630,000	0	2,630,000	1,776,965	853,035	
援助事業							
	1 援助費	1,100,000	255,500	1,355,500	1,355,500	0	2より流用増
	2 協賛援助費	1,500,000	255,500	1,244,500	416,325	828,175	1へ流用減
	3 旅費交通費	10,000	0	10,000	5,140	4,860	
	4 雑費	20,000	0	20,000	0	20,000	
5 保健衛生思想		28,600,000	0	28,600,000	23,252,092	5,347,908	
普及事業							
	1 セミナ－費	19,000,000	0	19,000,000	14,945,237	4,054,763	
	2 広報費	7,500,000	0	7,500,000	6,954,455	545,545	
	3 通信費	300,000	0	300,000	0	300,000	
	4 印刷製本費	1,500,000	0	1,500,000	1,349,250	150,750	
	5 雑費	300,000	0	300,000	3,150	296,850	
2 管理費		125,510,000	0	125,510,000	112,008,191	13,501,809	
	1 役員報酬	31,000,000	0	31,000,000	30,146,000	854,000	
	2 給料	20,000,000	0	20,000,000	15,333,850	4,666,150	
	3 手当	10,500,000	0	10,500,000	5,640,227	4,859,773	
	4 退職金	0	0	0	0	0	
	5 福利厚生費	7,500,000	528,992	6,971,008	5,992,644	978,364	8へ流用減
	6 旅費交通費	1,700,000	0	1,700,000	1,265,851	434,149	
	7 臨時雇賃金	100,000	0	100,000	0	100,000	
	8 会議費	600,000	528,992	1,128,992	1,128,992	0	5より流用増
	9 交際費	1,300,000	48,544	1,251,456	1,237,981	13,475	10へ流用減
	10 通信費	500,000	48,544	548,544	548,544	0	9より流用増
	11 什器備品費	100,000	121,454	221,454	221,454	0	12より流用増
	12 機器リース料	2,500,000	121,454	2,378,546	2,334,356	44,190	11へ流用減
	13 消耗品費	1,000,000	240,055	759,945	670,342	89,603	14へ流用減
	14 修繕費	1,000,000	240,055	1,240,055	1,240,055	0	13より流用増
	15 印刷製本費	1,000,000	0	1,000,000	842,634	157,366	
	16 水道光熱費	1,500,000	0	1,500,000	1,151,627	348,373	

勘定科目		予算額			決算額	差異	備考
大科目	中科目	予算額	流用額	計			
	17 借室料	28,800,000	0	28,800,000	28,789,056	10,944	
	18 火災保険料	50,000	0	50,000	29,630	20,370	
	19 租税公課	1,000,000	0	1,000,000	567,294	432,706	
	20 共益費	8,500,000	0	8,500,000	8,499,948	52	
	21 清掃費	160,000	0	160,000	115,500	44,500	
	22 雑費	6,700,000	0	6,700,000	6,252,206	447,794	
3	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	
	建物造作	0	0	0	0	0	
	建物附属設備	0	0	0	0	0	
4	特定預金支出	21,000,000	0	21,000,000	0	21,000,000	
	退職給与引当預金支出	20,000,000	0	20,000,000	0	20,000,000	
	減価償却引当預金支出	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
	公益事業基金支出	0	0	0	0	0	
5	予備費	184,634,000	0	184,634,000	0	184,634,000	
	予備費	184,634,000	0	184,634,000	0	184,634,000	
当期支出合計 (C)		875,134,000	0	875,134,000	642,413,502	232,720,498	
当期収支差額 (A)-(C)		310,534,000	0	310,534,000	38,550,386	271,983,614	
次期繰越収支差額 (B)-(C)		0	0	0	545,245,287	545,245,287	

正味財産増減計算書総括表

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

増加の部

(単位:円)

科 目	合 計	一 般 会 計	診 療 事 業 特 別 会 計
資 産 増 加 額	0	0	0
負 債 減 少 額	17,669,000	17,669,000	0
増 加 額 合 計 (A)	17,669,000	17,669,000	0

減少の部

科 目	合 計	一 般 会 計	診 療 事 業 特 別 会 計
資 産 減 少 額	65,715,467	65,715,467	0
負 債 増 加 額	0	0	0
減 少 額 合 計 (B)	65,715,467	65,715,467	0
当期正味財産減少額 (C) = (A) - (B)	48,046,467	48,046,467	0
前期繰越正味財産額 (D)	2,254,407,101	2,107,250,029	147,157,072
内 部 取 引 消 去	0	0	0
期末正味財産合計額 (F) = (C) + (D)	2,206,360,634	2,059,203,562	147,157,072

正味財産増減計算書(一般会計)

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

増加の部

(単位:円)

勘定科目				
大科目	中科目	金額		
資産増加額				
負債減少額			17,669,000	
	退職給与引当金取崩額	17,669,000		
増加額合計 (A)				17,669,000

減少の部

勘定科目				
大科目	中科目	金額		
資産減少額			65,715,467	
	当期収支差額	38,550,386		
	建物造作減価償却額	5,147,756		
	建物付属設備減価償却額	4,342,310		
	器具備品減価償却額	6,015		
	退職給与引当預金取崩額	17,669,000		
負債増加額			0	
減少額合計 (B)				65,715,467
当期正味財産増減額 (C)=(A)-(B)				48,046,467
前期繰越正味財産額 (D)				2,107,250,029
期末正味財産合計額 (F)=(C)+(D)				2,059,203,562

貸借対照表総括表

平成18年3月31日現在

資産の部

(単位:円)

科 目	合 計	一 般 会 計	診療事業特別会計
流動資産合計	719,270,906	565,623,142	153,647,764
固定資産合計	1,698,874,175	1,698,874,175	0
資 産 合 計	2,418,145,081	2,264,497,317	153,647,764

負債の部

科 目	合 計	一 般 会 計	診療事業特別会計
流動負債合計	26,868,547	20,377,855	6,490,692
固定負債合計	184,915,900	184,915,900	0
負 債 合 計	211,784,447	205,293,755	6,490,692

正味財産の部

科 目	合 計	一 般 会 計	診療事業特別会計
正 味 財 産	2,206,360,634	2,059,203,562	147,157,072
(うち基本金)	(1,035,878,174)	(1,035,878,174)	(0)
(うち当期正味財産増減額)	(48,046,467)	(48,046,467)	(0)
負債及び正味財産合計	2,418,145,081	2,264,497,317	153,647,764

貸借対照表 (一般会計)

平成18年3月31日現在

資産の部

(単位:円)

勘定科目				
大科目	中科目	金	額	
流動資産	現金預金	2,966,360		
	有価証券	524,625,568		
	未収入金	39,543,997		
	貯蔵品	706,722		
	前払費用	3,713,215		
流動資産合計 (A)			565,623,142	
固定資産	基本財産			
	有価証券	985,878,174		
	定期預金	50,000,000		
	基本財産合計 (B)		1,035,878,174	
	有形固定資産			
	建物造作	101,727,827		
	建物附属設備	25,232,896		
	器具備品	253,234		
	有形固定資産合計 (C)		127,213,957	
	その他の固定資産			
敷金	100,866,144			
退職給与引当預金	21,915,900			
減価償却引当預金	163,000,000			
公益事業基金	250,000,000			
その他の固定資産合計 (D)		535,782,044		
固定資産合計 (E)=(B)+(C)+(D)			1,698,874,175	
資産合計 (F) = (A) + (E)			2,264,497,317	

負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動負債	買掛金	5,107,787	
	未払金	12,586,128	
	預り金	2,683,940	
流動負債合計 (G)			20,377,855
固定負債	退職給与引当金	21,915,900	
	減価償却引当金	163,000,000	
固定負債合計 (H)			184,915,900
負債合計 (I) = (G)+(H)			205,293,755

正味財産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
正味財産	正味財産	2,059,203,562	円
	(うち基本金)	(1,035,878,174)	円
	(うち当期正味財産増減額)	(48,046,467)	円
正味財産合計 (J)			2,059,203,562
負債及び正味財産合計 (K) = (I)+(J)			2,264,497,317

注 1.基本財産たる資産:(株)三越株式 40,199,506株 985,878,174 円
 定期預金 50,000,000 円

2.固定資産償却累計額は下記の通り

建物造作 70,144,023 円
 建物附属設備 137,552,282 円
 器具備品 4,732,981 円
 合計 212,429,286 円

計 算 書 類 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

投資有価証券……総平均法による原価基準を採用している。

(2) 固定資産の減価償却について

建物及び備品……定率法による減価償却を実施している。但し、平成10年4月1日以後取得の建物については定額法を、少額資産については一括償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準について

退職給与引当金……期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、有価証券、未収入金、未払金、前払費用、買掛金、貯蔵品、預り金を含めることになっている。

なお、前期末及び当期末残高は 3. に記載のとおりである。

(5) 消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産の残高は次のとおりである。

種 類	科 目	前期末残高	当期増加額	当期末残高
基本財産 (基本金)	有価証券	985,878,174円	0円	985,878,174円
	定期預金	50,000,000円	0円	50,000,000円

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
	円	円
現金預金	41,881,124	2,966,360
有価証券	523,732,700	524,625,568
未収入金	40,331,497	39,543,997
貯蔵品	798,736	706,722
前払費用	1,898,571	3,713,215
合 計	608,642,628	565,623,142
買掛金	5,036,558	5,107,787
未払金	17,558,160	12,586,128
預り金	2,252,237	2,683,940
合 計	24,846,955	20,377,855
次期繰越収支差額	583,795,673	545,245,287

財 産 目 録 総 括 表

平成18年3月31日現在

区 分	所在・数量等	基本財産 円	運用財産 円	合 計 円
(資産の部)				
流動資産				719,270,906
1.現金預金			123,353,294	
(1)現 金	手許有高 863,533 円			
(2)普通預金	三井住友銀行新宿通支店 85,346,605 円			
(3) "	三菱東京UFJ銀行新宿中央支店 2,656,481 円			
(4) "	山梨中央銀行新宿支店 14,286,675 円			
(5) "	三井住友銀行新宿通支店 4,750,000 円			
(6) "	三井住友銀行新宿通支店 6,450,000 円			
(7) "	三井住友銀行新宿通支店 7,000,000 円			
(8)定期預金	山梨中央銀行新宿支店 2,000,000 円			
2.未収入金			66,409,127	
3.有価証券			524,625,568	
(1)有 価 証 券	国 債 99,900,000 円			
(2) "	ユ-ロ円債 100,000,000 円			
(3) "	" 100,000,000 円			
(4) "	" 100,000,000 円			
(5) "	" 100,000,000 円			
(9)保険積立金	三井住友海上火災保険(株) 24,725,568 円			
4.貯 蔵 品			1,169,702	
5.前 払 費 用			3,713,215	
固定資産				1,698,874,175
1.建 物 造 作			101,727,827	
2.建物附属設備			25,232,896	
3.器 具 備 品			253,234	
4.有 価 証 券		985,878,174		
5.定期預金		50,000,000		
6.敷 金			100,866,144	
8.退職給与引当預金			21,915,900	
9.減価償却引当預金			163,000,000	
10.公益事業基金			250,000,000	
資 産 合 計		A 1,035,878,174	B 1,382,266,907	2,418,145,081
(負債の部)				
流動負債				26,868,547
1.買 掛 金			7,599,269	
2.未 払 金			12,593,338	
3.未払法人税等			3,992,000	
4.預り金			2,683,940	
固定負債				184,915,900
1.退職給与引当金			21,915,900	
2.減価償却引当金			163,000,000	
負 債 合 計				C 211,784,447
差 引 (B)-(C)			D 1,170,482,460	
正 味 財 産 (A)+(D)				2,206,360,634

財 産 目 録 (一 般 会 計)

平成18年3月31日現在

区 分	所在・数量等	基本財産	運用財産	合 計
		円	円	円
(資産の部)				
流動資産				565,623,142
1.現金預金			2,966,360	
(1)現金	手元有高 509,535 円			
(2)普通預金	三井住友銀行新宿通支店 30,367,663 円			
(3) "	三菱東京UFJ銀行新宿中央支店 2,099,577 円			
(4) "	山梨中央銀行新宿支店 4,592,191 円			
(5) "	三井住友銀行新宿通支店 4,750,000 円			
(6) "	三井住友銀行新宿通支店 6,450,000 円			
(7) "	三井住友銀行新宿通支店 7,000,000 円			
(8)定期預金	山梨中央銀行新宿支店 2,000,000 円			
2.有価証券			524,625,568	
(1)有価証券	国債 99,900,000 円			
(2) "	ユーロ円債 100,000,000 円			
(3) "	" 100,000,000 円			
(4) "	" 100,000,000 円			
(5) "	" 100,000,000 円			
(9)保険積立金	三井住友海上火災保険(株) 24,725,568 円			
3.未収入金	集団健診料金他		39,543,997	
4.貯蔵品	薬品その他諸材料		706,722	
5.前払費用	労働保険料		3,713,215	
固定資産				1,698,874,175
1.建物造作	明細...別表(1)		101,727,827	
2.建物附属設備	明細...別表(2)		25,232,896	
3.器具備品	明細...別表(3)		253,234	
4.有価証券	(株)三越株式...別表(4)	985,878,174		
5.定期預金	自由金利型定期預金	50,000,000		
6.敷金	エステック(株)		100,866,144	
8.退職給与引当預金	普通預金		21,915,900	
9.減価償却引当預金	普通預金		163,000,000	
10.公益事業基金	ユーロ円債		250,000,000	
資 産 合 計		A 1,035,878,174	B 1,228,619,143	2,264,497,317

区 分	所在・数量等	基本財産 円	運用財産 円	合 計 円
(負債の部)				
流動負債				20,377,855
1.買掛金	薬品その他諸材料		5,107,787	
2.未払金	健診室拡充工事費他		12,586,128	
3.預り金	職員給与所得税他		2,683,940	
固定負債				184,915,900
1.退職給与引当金			21,915,900	
2.減価償却引当金			163,000,000	
負債合計				C 205,293,755
差引 (B)-(C)			D 1,023,325,388	
正味財産 (A)+(D)				2,059,203,562

注 1.基本財産たる資産 : (株)三越株式 40,199,506株 985,878,174円

定期預金 50,000,000円

2.固定資産償却累計額は下記の通り

建物造作 70,144,023円

建物附属設備 137,552,282円

器具備品 4,732,981円

合計 212,429,286円

建 物 造 作

別表(1)

(単位:円)

構造又は用途・細目	取得年月	数	取得価格	耐用年数	償却定率	年度末簿価
建 物 造 作	H 4. 10	1	156,628,016	50	0.045	90,030,468
"	H14. 05		15,243,834	15	0.066	11,697,359
合 計		1	171,871,850			101,727,827

建 物 附 属 設 備

別表(2)

(単位:円)

構造又は用途・細目	取得年月	数	取得価格	耐用年数	償却定率	年度末簿価
電 気 設 備	H 4. 10	1	27,298,849	15	0.142	3,463,341
"	H14. 05		3,311,663	"	"	1,819,468
衛 生 設 備	H 4. 10	1	28,204,389	15	0.142	3,578,223
"	H14. 05		189,751	3		0
冷暖房通風設備	H 4. 10	1	84,698,693	15	0.142	10,745,517
"	H14. 05		9,193,713	13	0.162	4,606,890
災害報知設備	H 4. 10	1	7,980,201	8	0.250	399,010
"	H14. 05		1,907,919	"	"	620,447
合 計		4	162,785,178			25,232,896

- 注 1. 新規衛生設備は、一括償却資産のため、3年均等償却で処理する。
 2. 新規に取得した建物造作についてのみ、定額法で処理している。

器 具 備 品

別表(3)

(単位:円)

構造又は用途・細目	取得年月	数	取得価格	耐用年数	償却定率	年度末簿価
家具電気機器			円			
受付カウンター	H 4. 10	1	4,272,310	8	0.250	213,616
エンドスコープクロゼット	S 6 2. 4	1	436,000	15	0.142	25,723
看板・広告機器						
出退表示設備	H 4. 10	1	277,905	10	0.206	13,895
器具および備品合計		3	4,986,215			253,234

有形固定資産総計		8	339,643,243			127,213,957
----------	--	---	-------------	--	--	-------------

別表(4)

有 価 証 券 (基 本 財 産)

有価証券内訳 銘柄 株式会社三越

内 訳	株 数
不 所 持 株 数	40,199,000 株
登 録 単 位 未 満 株 式 数	506
合 計	40,199,506

収 支 計 算 書 (診 療 事 業 特 別 会 計)

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

収 入 の 部

(単位:円)

勘 定 科 目		予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目				
事業収入		218,000,000	233,635,906	15,635,906	
	診 療 報 酬	218,000,000	233,635,906	15,635,906	
雑収入		1,500,000	538,109	961,891	
	雑 収 入	1,500,000	538,109	961,891	
当 期 収 入 合 計 (A)		219,500,000	234,174,015	14,674,015	
前 期 繰 越 収 支 差 額		0	147,157,072	147,157,072	
収 入 合 計 (B)		219,500,000	381,331,087	161,831,087	

支 出 の 部

勘 定 科 目		予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目				
診療事業費		219,500,000	215,174,737	4,325,263	
	1 給 料	70,000,000	69,732,502	267,498	
	2 手 当	28,000,000	27,861,657	138,343	
	3 退 職 金	1,000,000	0	1,000,000	
	4 福 利 厚 生 費	13,500,000	15,576,573	2,076,573	
	5 旅 費 交 通 費	2,000,000	2,189,440	189,440	
	6 臨 時 雇 賃 金	16,500,000	17,670,665	1,170,665	
	7 通 信 費	340,000	381,630	41,630	
	8 什 器 備 品 費	300,000	157,594	142,406	
	9 機 器 リ ー ス 料	10,000,000	7,351,716	2,648,284	
	10 検 査 ・ 材 料 費	18,000,000	14,679,052	3,320,948	
	11 薬 品 費	8,000,000	10,528,765	2,528,765	
	12 消 耗 品 費	2,800,000	2,364,865	435,135	
	13 修 繕 費	3,000,000	4,762,085	1,762,085	
	14 印 刷 製 本 費	2,000,000	999,485	1,000,515	
	15 水 道 光 熱 費	2,500,000	2,421,256	78,744	
	16 租 税 公 課	3,300,000	2,335,616	964,384	
	17 借 室 料	25,370,000	25,353,876	16,124	

勘定科目		予算額	決算額	差異	備考
大科目	中科目				
	18 共益費	8,140,000	8,130,384	9,616	
	19 清掃費	700,000	800,384	100,384	
	20 火災保険料	50,000	0	50,000	
	21 雑費	4,000,000	1,877,192	2,122,808	
繰入金支出		0	15,007,278	15,007,278	一般会計へ
	繰入金支出	0	15,007,278	15,007,278	
法人税等		0	3,992,000	3,992,000	
	法人・都民税	0	3,992,000	3,992,000	
当期支出合計 (C)		219,500,000	234,174,015	14,674,015	
当期収支差額 (A)-(C)		0	0	0	
次期繰越収支差額 (B)-(C)		0	147,157,072	147,157,072	

正味財産増減計算書(診療事業特別会計)

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

増加の部

(単位:円)

勘定科目		金額		備考
大科目	中科目			
資産増加額		0	0	
負債減少額		0	0	
増加額合計 (A)			0	

減少の部

勘定科目		金額		備考
大科目	中科目			
資産減少額		0	0	
負債増加額	当期収支差額	0	0	
減少額合計 (B)			0	
当期正味財産増減額 (C)=(A)-(B)			0	
前期繰越正味財産額 (D)			147,157,072	
期末正味財産合計額 (F)=(C)+(D)			147,157,072	

貸借対照表 (診療事業特別会計)

平成18年3月31日現在

資産の部

(単位:円)

勘定科目		金額	
大科目	中科目	金	額
流動資産	現金預金	126,319,654	
	未収入金	26,865,130	
	貯蔵品	462,980	
流動資産合計			153,647,764
資産合計 (A)			153,647,764

負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目	金	額
流動負債	買掛金	2,491,482	
	未払金	7,210	
	未払法人税等	3,992,000	
流動負債合計			6,490,692
負債合計 (B)			6,490,692

正味財産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目	金	額
正味財産	正味財産	147,157,072	
	(うち前期繰越利益)	0	
	(うち当期損失)	0	
正味財産合計 (C) = (A) - (B)			147,157,072
負債及び正味財産合計 (D) = (B) + (C)			153,647,764

財 産 目 録 (診療事業特別会計)

平成18年3月31日現在

区 分	所在・数量等	基本財産	運用財産	合 計
		円	円	円
(資産の部)				
流動資産				153,647,764
1.現金預金			126,319,654	
1)現 金	手許有高 353,998 円			
2)普通預金	三井住友銀行新宿通支店 115,714,268 円			
"	三菱東京UFJ銀行新宿中央支店 556,904 円			
	山梨中央銀行新宿支店 9,694,484			
2.未収入金	保険診療報酬他		26,865,130	
3.貯 蔵 品	薬品その他諸材料		462,980	
資 産 合 計		A 0	B 153,647,764	153,647,764
(負債の部)				
流動負債				6,490,692
1.買 掛 金	薬品その他諸材料		2,491,482	
2.未 払 金	郵便料		7,210	
3.未払法人税等	法人・都民税		3,992,000	
負 債 合 計				C 6,490,692
差 引 (B)-(C)			D 147,157,072	
正 味 財 産 (A)+(D)				147,157,072